

岐阜武専 2026年6月度 進行表

時間	内容	会場	担当	備考	昇段試験
				送迎：なし	
8:30 (30分)	機材搬入⇒学生入場	2F大集会室		責任者：高橋先生	ブロック
9:00 (25分)	作務・出席点呼	2F大集会室	学生		受付・書類確認) 9:00-9:15
9:10 (15分)	講師・講師補集合、打合せ	研修室	講師・講師補	日程確認等	所属長打合せ 9:15-9:25
9:25 (15分)	鎮魂行	2F大集会室	主座：古川先生 打棒：北瀬先生	太鼓：なし	鎮魂行 9:25-9:40
9:40 (10分)	ユニティー運営委員会委員長挨拶	2F大集会室	委員長挨拶：松久先生		理事長挨拶 諸連絡・昇段諸注意 9:40-9:50
9:50 (5分)	休憩・準備				休憩・準備 9:50-10:00
9:55～ (45分)	【1時限】講義1 少林寺拳法師家講話	2F大集会室	松原	机・ホワイトボード・ペン	学科審査 (会議室) 宿題評価 (会議室) 10:00-11:00
10:40 (10分)	休憩				
10:50～ (45分)	【2時限】講義2 グループディスカッション 「教区の活動を学ぶ」 考試員の技術向上	2F大集会室	亀山先生 高橋先生 大塚先生	机・ホワイトボード・ペン *大塚先生の講義中、松原が試験の担当を代行する	移動 実技試験(2F競技場) 学科採点 (会議室) 11:10-13:20
11:35～ (30分)	昼食・昼休み (食事は、指定された場所でお願います)	2F大集会室			
12:05～12:35 (30分)	技術確認	2F大集会室	講師・講師補		
12:45 (10分)	準備体操	2F大集会室	野一色先生		
12:55～ (30分)	【3時限】全体基本	2F大集会室	野一色先生		
13:25 (5分)	休憩				
13:30～ (80分)	【4時限】実技1 指導者養成コース (二段) 指導者養成コース (三段) 指導者養成コース (四段) 指導者コース (研究クラス) 指導者コース (所属長クラス)	2F大集会室	亀山先生 野一色先生 松原 畑中先生 柳手先生		審査結果確認 13:20-13:30 追試・補講・作務 審査結果発表 14:00-14:15
14:50 (5分)	休憩				14:20 終了
14:55～ (60分)	【5時限】実技2 指導者養成コース (二段) 指導者養成コース (三段) 指導者養成コース (四段) 指導者コース (研究クラス) 指導者コース (所属長クラス)	2F大集会室	亀山先生 野一色先生 松原 畑中先生 柳手先生		受験後、武専に参加可能です。参加希望の方は、「指導者養成コース」に入ってください。是非、ご参加ください。
15:55～ (15分)	終礼・総評	2F大集会室	委員長挨拶：松久先生	太鼓：なし	
16:10～ (5分)～	作務・解散 終了 講師・教務反省会	2F大集会室 研修室	学生 講師・講師補	作務・解散 終了	
16:15	終了			送迎：なし	

第2回(2026年6月度)技術科目表

【3時限】全クラス共通

	基本実技	基本科目	指導担当
全体基本		振り子突(単・連) 連続複数法形修練 体捌きを用いた防技 [内受突 外受突 開身突] 上段突攻撃に対する防技 [小手抜 逆小手 逆引天秤] 白蓮拳第一系	野一色先生

【4時限】実技1

	クラス	技術科目	指導担当
指導者養成コース	初段クラス	天王拳: 逆天一 対天一 五華拳: 上受投 上受逆手投	亀山先生
	二段クラス	三合拳: 中段返 天王拳: 蹴天一～掬投 龍華拳: 諸手送小手投 振捨表投 腰挫	
	三段クラス	仁王拳: 外押受突 外押受蹴 五華拳: 押受投 押受巻投	野一色先生
	四段以上クラス	白蓮拳: 三日月返 水月返 半月返 羅漢拳: 袖巻返 袖捕内天秤 袖十字 羅漢圧法: 肘陰攻 肘陽攻 各地区の状況に応じて以下の内容から選択して実施するものとする。 ○従前からの「身心改造に向けた人づくり」をテーマにした内容。 「三徳兼備の少林寺拳法を極める」「教義＝技＝日常全てが一致する少林寺健保を極める」「力愛不二(調和)の思想を拳禅一如の修練を通して身に付ける少林寺拳法を究める」 ○四段以上クラスの内容。○各地区でテーマ設定をした内容。	松原
指導者コース	所属長クラス 五段上の所属長	考試員講習会の実習科目の復讐を行う。また、その後に自身の修練を行う場合の参考として以下の科目を記す。 考試員講習会の復習科目 下受順蹴 逆天一 払受段突 逆天秤 上受逆手投 片胸落 羅漢拳・羅漢圧法 袖捕内天秤 袖巻返裏 帯捕(撓骨攻)	蜘蛛手先生

【5時限】実技2

	クラス	技術科目	指導担当
指導者養成コース	初段～三段	○演武研究 ・昇格考試の組演武、もしくは自由組演武の演武組成を行うとともに、演武の修練を行う。なお、できれば複数の人と行い、技量の幅を広げる。 ・質疑応答	亀山先生 野一色先生
	四段以上	○演武研究 ・指導者養成コース(初～三段)の内容を行う。考試員資格を持っている者は、考試の審査実習を兼ねて行う。 ・質疑応答	松原
指導者コース	研究クラス 拳士と四段以下の所属長	○演武研究 ・指導者養成コース(初～三段)の内容を行う。考試員資格を持っている者は、考試の審査実習を兼ねて行う。 ・質疑応答	畑中先生
	所属長クラス 五段以上の所属長	○演武研究 ・指導者養成コース(初～三段)の内容を行う。考試員資格を持っている者は、考試の審査実習を兼ねて行う。 ・質疑応答	蜘蛛手先生